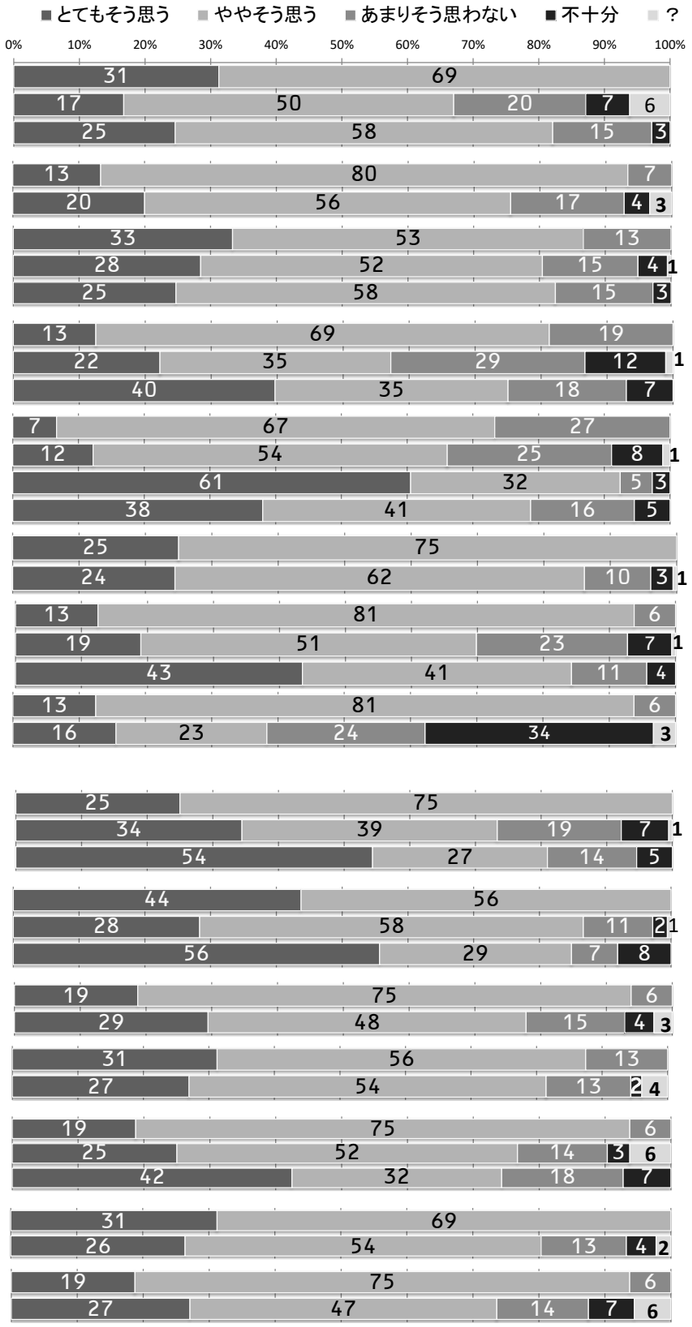
学校評価（中間）結果

保護者アンケート回収率78.5%

		項　　目		平均値
確かな学力	1	未定着児童への細かな対応	教職員	3.3
		学校は、授業でわからない子やできない子に、わかる・できるまで指導していると感じられますか。	保護者	2.6
		どの教科でも勉強したことがよくわかり、きちんと身についていると思いますか。	児童	3.0
	2	見通しを持たせる授業展開　見方・考え方を働かせた学習指導	教職員	3.1
		学校は、学習内容が定着できるよう、授業を工夫したり改善したりしていると感じられますか。	保護者	2.9
	3	学習規律の定着　　ノート指導の充実	教職員	3.2
		お子さんは学習のきまり（勉強道具の用意や参観日の様子などから）が身に付いていますか。	保護者	3.0
		「西小そろえる活動」を守っていますか。	児童	3.0
	4	家庭と連携した学習習慣の確立	教職員	2.9
		学校は学習の約束を明らかにし、低学年からの積み重ねを大切にした指導を行っている。	保護者	2.7
		自分から宿題や家庭学習に取り組んでいますか。（最低　学年×10分）	児童	3.1
	5	コミュニケーション能力の充実	教職員	2.8
		お子さんは、人の話をしっかり聞き、自分の考えを進んで話すことができるようになってきたと思いますか。	保護者	2.7
		先生や友達の話をしっかり聞いていますか。	児童	3.5
		自分の考えを相手に伝えたりすることができますか。		3.1
豊かな心	6	道徳教育を通じ、豊かな心を育む	教職員	3.3
		お子さんは、友だちを大切にする思いやりの心が育ってきていますか。	保護者	3.1
	7	全校が共通して取り組む基本的な校内生活習慣の確立	教職員	3.1
		お子さんは、相手を大切にする挨拶や言葉遣いが身についていると思いますか。	保護者	2.8
		人と接するときに、礼儀や言葉づかいに気をつけていますか。	児童	3.2
	8	読書に興味をもたせる指導	教職員	3.1
		お子さんは、家庭で本に興味を持ち、読書をしていますか。	保護者	2.1
		家庭で読書している時間はどれくらいですか。	児童	17分
健やかな体	9	運動が好きな子の育成:運動習慣の定着化の取組	教職員	3.3
		お子さんは、進んで運動（体を動かすこと）に親しもうとしていますか。（学校での授業や諸行事、社会体育活動、家庭での運動等を総合的に捉えて）	保護者	3.0
		めあてをもって、運動に取り組んでいますか。	児童	3.3
	10	運動が好きな子の育成:全校で取り組む共通した体力づくり活動の推進	教職員	3.4
		お子さんは、体力や運動技能が向上してきていますか。	保護者	3.1
		体力がついたと感じたり、運動が前よりうまくできるようになったと感じますか。	児童	3.3
	11	保護者や地域と積極的に連携し、開かれた学校づくりに取り組む	教職員	3.1
		保健だより、給食だよりは、ご家庭で活用しやすい内容ですか。	保護者	3.0
信頼される学校	12	保護者や地域と積極的に連携し、開かれた学校づくりに取り組む	教職員	3.2
		学校は、各種の便りや懇談、ホームページ等を通して、子どもたちの学習や活動の様子について積極的に情報を発信・提供していますか。	保護者	3.0
	13	素早い連絡や対応と丁寧な説明による保護者との相互理解の深化	教職員	3.1
		学校は、保護者からの連絡や相談に、迅速かつ適切に応えるよう努めていますか。	保護者	2.9
		困ったことや悩みがあるとき、先生方に相談したりしていますか。	児童	3.1
	14	安心・安全:いじめや不登校、問題行動等の未然防止と早期発見・早期対応	教職員	3.3
		学校は、全ての子どもたちが、楽しく安心して過ごせる学級づくりに努めていますか。	保護者	3.0
	15	安心・安全:校舎内外環境整備	教職員	3.1
		学校は、常に校舎内外を整理整頓し、学習に適した環境づくりに努めていますか。	保護者	2.8



分析・考察

☆確かな学力

1　理解度に合わせた授業を展開し、児童は効果を感じているが　家庭で我が子の現状や変容を把握できないことがポイントの差となっているのではないか。
2　継続的な授業研究により、教師の指導技術の向上が見られている。保護者からも一定の評価を受けている。
3　チャイム席や、机上の準備、ノート記録など、児童の達成感が高まっており、継続的な指導が大切である。
4　家庭の意識向上が課題だが学級経営交流会等で家庭学習と朝学習を結びつけるなど、意識喚起の取組が報告されている。教師間での有効な方法の共有が大切である。
5　児童はある程度の達成感を持っているが教職員、保護者とも発達段階に応じた表現力の向上が必要であると感じている。授業だけでなく、児童会活動などでも、自分の考えを順序立てて話し相手に伝わりやすい工夫などについて指導、助言を進めている。

☆豊かな心

7　身近な大人の言葉遣いが影響している所もあり得るので、教員や保護者の言葉遣いに気を付けていく必要がある。児童会生活委員があいさつ運動に取り組んだり、生徒指導係からのあいさつ指導の共通理解や全校的な指導を進めていく。
8　学校では、朝読書や読書月間などの取組を進めているので、家庭でできる取組や、読書に関するイベントの紹介など、家庭への啓もう活動を考えていきたい。また、蔵書の一層の充実も図っていきたい。

☆健やかな体

10　現在取り組んでいるシャトルラン・縄跳びについては、表彰を行うことによって意欲的に取り組む児童が増えてきている。また、今年から「どさんこ元気アップチャレンジ」にも取り組み、縄跳びを通して運動に対する意欲的向上を図っている。
　全国体力運動能力テストは、現在5年生のみの実施だが、これから実施学年を増やしていけるか検討する予定。
11　水泳学習・スキー学習の保護者ボランティアを募り、協力していただいた（水泳学習は今年から）。運動会のお手伝いも多くの協力を得られた。今後も積極的な協力をお願いしたい。
給食だより・保健だよりについては、内容をより工夫して、学校での取組などを家庭・地域に理解していただけるように努める。

☆信頼される学校

12　ホームページの更新回数を増やし、本校の教育活動を積極的に発信し、学校をより身近に感じていただくよう努めてきた。引き続き行事等を中心に教育活動の様子を効果的に伝えられるよう努めていく。
13　教師間の情報共有や同一歩調の強さが少し揺らいできているので、教師同士の意見交換等しっかり行い、危機感をもって児童理解に向かうべきであると考える。また、保護者の信頼度を上げるためにも、教師側のきちんとした（一貫性のある）対応を心がけていく必要がある。教師と児童の信頼関係を深めるとともに、児童は、誰に・どのように相談していいのか分からないことも考えられるため、相談方法をきちんと示していきたい。合わせてスクールカウンセラーへの相談も充実させていきたい。
14　若手教員が多いことから、全ての子どもたちが、楽しく安心して過ごすことができるよう、学級経営の方法等について、個々の教員が持っているアイデアや実践などについて交流し、研修を深め、スキルアップを図っていくことも必要。
15　教室の整理についてまちまちなところがあるので、教室整理の水準についての共通理解やガイドラインの作成などを考えていく。

☆保護者アンケート記述欄（主なご意見・ご要望等）

○家庭で様子・学習等
・家庭学習ノートを提出することで、自分で考えながら内容を決められるようになった。
・昨年の今頃から見て、驚くほどの成長を感じている。学校が楽しくて仕方がないようで家族で喜んでいる。

○行事などについて
・運動会の土曜日開催や時間短縮を検討してほしい。
・親子レクについて、学年によって、時間や参加費が違いすぎる。ある程度の上限などが決められないのか。

○その他　　・校舎の大時計を直してほしい。　　・HPの内容が充実していてよい。「給食レシピ」を載せてくれると嬉しい。

○教職員の対応等
・いつも温かく見守ってもらい、安心して学校に通わせられる。
・もっと子供たちを信頼すべきだと思う。昔のようにのびのびとした学校生活を今の子供たちは送ってないと思う。
・もう少し親身に子供たち一人一人に向き合ってほしい。　・休み時間の様子をもう少し見てほしい。
・昨年までのように、朝、玄関前で子供たちを迎えてほしい。
・授業以外でも子供たちとの触れ合い、コミュニケーションがもう少し増えたら、もっと楽しいクラスになるのではと思う。
・個人懇談や連絡帳の活用など、子供の様子がわかるような取組・工夫をしてほしい。

今後、すぐに改善できるところは迅速に対応するとともに、回答に時間を要する案件については、懇談会・保護者会等でご理解・ご協力を求めるなど、ていねいに説明をしていきたいと思います。